

力強さを漂わすデザインと塗り分けという新鮮な魅力

ホイール選びにおいて「カラー」はすでに重要なキーワードの一つと言っても良い。ブラックポリッシュが標準カラーとなりつつある今、レイズの最新作【ITCスパルタン】がツートンカラーという新たな魅力を生み出した。

ITC Sebring spartan

レイズ TEL 06-6787-0019 URL <http://rayswheels.co.jp/>



「色使いがこのホイールの一番の特長です」という「ITCスパルタン」。注目すべきはブラックフェイス/サイドシルバートーンという新しいカラー。その名の通り、スポークやリムの表面はブラックに、サイドや一段下がった部分はシルバートーンに塗り分けされている。「一本一本マスキングを行うことになるので、当初は製品としての実現自体が難しかったんです。でも、どうしてもこだわらなくて、最も気を遣ったのは色の境目ですね。しっかり出すのが非常に難しいんです。」

ホイールの魅力が色だけ、というわけではない。デザイン性の高さも見逃すことはできないだろう。太めのスポークはリムエンドまでつなげ、かつ緩やかなラウンドを描かせる。特に、リム直前できつめに跳ね上げたことで陰影と奥行き感を強く感じさせる。それにより、ワンピースホイールの一つの特長である「大口径感」も生まれている。「リムに向けてスポークを広げていく点もポイントです。新型タントにしろパレットにしろ、最近ではクルマ自体が大きくなっていきます。だからこそ、ボディに負けないボリューム感を出したかったんです。その結果、力強く迫力のあるデザインに仕上がりました。」

「表面がブラックなので、タイヤとの一体感が強まって、足元にまとまりが出ます。でも、それだけではない。サイドのシルバートーンがさりげなく主張して、フルブラックとは違った高い装着感を与えてくれるのです。」

「高いデザイン性と特徴的なカラー。これまではショッパなどによる「ワンオフ」が大部分を占めていたホイールの塗り分け。それをごく手軽に手にできるホイール「ITCスパルタン」が「人とは違う」という喜びをより鮮烈に感じさせてくれるはずだ。」



単に幅を広げるのではなく、段差を付けることで立体感を強調している。



ホールの周辺を意欲に彫り込ませ、ホイールのセンターを小さく見せる。



■キャップには商品名を表す「ITC」。対して、スポーク中央には「Sebring」のロゴを刻む。■バルブに描かれた「TRAYS」の刻印。さりげなくレイズブランドを主張する。



【WHEEL SPEC】

SIZE	OFFSET	HOLE	P.C.D	PRICE
16×5.5J	+38/45	4	100	3万8850円
16×6.5J	+43/50	4	100	4万950円

◆COLOR: ダイヤモンドカットフェイス/サイドブラック、ブラックフェイス/サイドシルバー(3150円up)